

# 指定管理業務評価結果書

## 1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	高齢者総合福祉施設「めぐみ荘」
(2) 指定管理者	所在地 津山市山北 520 番地 名称 一般財団法人 津山市都市整備公社 代表者 理事長 植月 優
(3) 公の施設の所管部署	環境福祉部社会福祉事務所高齢介護課
(4) 指定期間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日
(5) 評価対象期間	令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日

## 2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	総利用者数 28,087 人 入浴者 27,483 人 (市内 24,328 人、市外 2,526 人、マツソ 0 人 他) 施設利用者 604 人 (会議室 174 人、ビリアード 199 人、和室 231 人)
(2) 事業の内容	高齢者総合福祉施設として、温泉を利用した地域住民の健康の増進、交流と地域活性化、憩いとやすらぎ及び介護予防の拠点となるための取組みを実施。

## 3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	48,024 千円
	指定管理料	34,178 千円
	利用料金収入	13,135 千円
	その他の収入	711 千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	48,242 千円
	主な支出 人件費	12,092 千円
	需用費	20,144 千円
	役務費	479 千円
	委託料	2,864 千円
	使用料及び賃借料	8,000 千円
	原材料費	3,402 千円
負担金・公租公課	1,261 千円	

## 4 総合評価結果

(1) アンケート調査の概要	利用者の利便性向上及び施設管理の充実を図るため、アンケートを実施。
----------------	-----------------------------------

<p>(2) 指定管理者の自己評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、検温・換気・消毒の対策を講じながら、安心安全な施設利用を第一にした管理運営に努めた。</li> <li>・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置に伴う津山市からの要請により、5月16日から6月20日まで、8月20日から9月30日までを臨時休館、1月27日から3月6日までを酒類の提供自粛及び時短営業により対応した。</li> <li>・近隣のあば温泉と共通のスタンプカードを導入し、施設相互のPRと利用促進を図った。</li> <li>・所有のマイクロバスで送迎サービスを行い、宴会・法要等の団体客への利便性向上を図った。</li> <li>・七夕やハロウィン、クリスマス、正月、ひなまつり等の季節に合わせた各種イベントを開催し、子どもから高齢者まで幅広い世代の集客に努めた。継続的な催し物として、毎月26日には風呂の日イベントを開催した。コロナ禍を考慮し、加茂地域を中心にした各種展示により近隣住民の集客を図った。</li> <li>・円滑な施設の管理運営を図るため、津山市加茂郷文化ふれあい施設運営委員会を開催し、施設運営等について地域関係者の助言や提案を受けた。</li> <li>・自主事業としてめぐみ荘の温泉水を津山市内の2施設に供給し、施設を積極的にPRし、増収に努めた。</li> <li>・健康増進や介護予防を目的とした講座を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大によりすべて中止した。</li> <li>・定期的な水質検査（レジオネラ菌等）と配管清掃等により、温泉の安全性を確保した。</li> <li>・利用者数および利用料収入について、新型コロナウイルス感染拡大の影響により一昨年度（コロナ前）と比べて大幅に減少したが、津山市プレミアム付地域商品券「さくら」や電子商品券「eつやま」、グルメ券「うまい券2」、GoTo イート食事券等のキャンペーンに積極的に参加し、集客に努めた。</li> <li>・これらのことから、今年度は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止を最優先にし、厳しい経済状況が続く中でも津山市の協力を得ながら、良好に業務を推進したものと評価する。次年度もコロナ禍は続くと思われるが、社会情勢を注視しながら更なる利用促進を図り、施設の設置目的に沿いながら収支の改善に努めたい。</li> </ul>
<p>(3) 市の評価</p>	<p>地域の方々や利用者の意見を積極的に取り入れ、ニーズに対応したイベントの実施、さらに施設の設置目的である市民の健康の増進、交流及び介護予防の拠点施設としての役割を果たすための取組み</p>

	<p>は高く評価できる。また、地域を中心にした各種展示、地域の方々の意見等を反映する委員会を継続して開催するなど、地域に根差した取り組みについても評価できる。プレミアム付地域商品券や電子商品券、グルメ券、GoTo イート食事券等のキャンペーンに積極的に参加し、集客に努めている一方、施設の利用者数に大幅な減少が見られ、厳しい運営状況となっている。</p> <p>令和4年度も引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、減少した市内利用者の増加に向け、ターゲットを絞り込んで集客企画やPRを行うなど利用促進を図り、収支の改善も含め施設の設置目的が達成されるよう運営されたい。</p>
--	--